

# 第45回広瀬川創生プラン策定推進協議会 議事録

- 日 時:令和5年11月17日(金曜日) 14:00~15:30
- 場 所:仙台市役所本庁舎8階 第四委員会室
- 出席委員:小祝 慶紀 会長、小田 隆史 会長代理  
岩崎 雄一郎 委員、大庭 克己 委員、大場 秀行 委員、佐々木 方明 委員、  
笹村 欣司 委員(代理:小島 伸一 氏)、佐藤 奈緒子 委員、多田 千佳 委員、  
豊嶋 純一 委員、日野口 巖 委員、谷田貝 泰子 委員
- 欠席委員:小松 智 委員、田名部 一朗 委員、野村 倫太郎 委員
- 事務局:建設局百年の杜推進部百年の杜推進課
- 内 容:  
<次 第>
  1. 開 会
  2. 挨拶
  3. 議 事
    - (1) 令和5年度重点事業の評価について
    - (2) 令和5年度主な取組事業の報告について
    - (3) 広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について
  4. その他
  5. 閉 会
- 要 旨:
  - 令和5年度重点事業の評価について了承された。
  - 令和5年度主な取組事業の報告について了承された。
  - 広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について了承された。

■ 議事詳細：

1. 開会

○司会（百年の杜推進課 熊谷課長）

ただいまより「第45回広瀬川創生プラン策定推進協議会」を開会する。本日、司会を務める百年の杜推進課長の熊谷である。

=配布資料の確認=

2. 挨拶

○司会（百年の杜推進課 熊谷課長）

はじめに、建設局長の佐藤より挨拶申し上げる。

○佐藤建設局長

本日は、お忙しい中、第45回広瀬川創生プラン策定推進協議会に出席いただき、誠に感謝する。今年4月の人事異動で建設局長となった佐藤である。委員の皆様には日頃より広瀬川創生プランの様々な施策の推進にご理解、ご協力をいただき、誠に感謝する。

今年本市では、34年ぶりとなる全国都市緑化仙台フェアを青葉山公園や西公園、その間にある広瀬川をメイン会場として、4月26日から6月18日までの54日間開催した。仙台フェアでは、「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」のテーマのもと、本市のみどり豊かな自然環境のすばらしさや、花や緑に囲まれ、自然の恵みを生かしながら暮らす新たなライフスタイルを広く内外に発信した。

この度の仙台フェアにおいては、目標とする100万人の来場者数を上回る115万人の方に訪れていただき、盛況のうちに無事閉幕することができた。これもひとえにご協力いただいた委員をはじめ、多くの市民によるお力添えあつてのことと感謝している。

さて、本日の協議会では、令和5年度重点事業の評価と主な取組事業の報告を予定している。その中では、仙台フェア開催に併せて開館・整備された、青葉山公園追廻地区の仙臺緑彩館や、広瀬川河川敷の“せせらぎ水路”など、広瀬川に市民が親しみ、その魅力を感じることできる新たなスポットでの取組事業についても紹介させていただく。

委員には、忌憚のないご意見、ご提言をお願いしたい。

○司会（百年の杜推進課 熊谷課長）

続いて、人事異動により当年度から新たに委員となられた2名を紹介する。

- 公益財団法人仙台観光国際協会 観光事業部長（兼）受入環境整備課長  
小松 智 委員

本日は所用により欠席との連絡をいただいている。

- 宮城県仙台土木事務所 河川部河川砂防第一班 技術主幹（班長）  
田名部 一朗 委員

本日は所用により欠席との連絡をいただいている。

本日、ニッカウキスキー株式会社仙台工場理事工場長の笹村 欣司委員は、所用のため、総務部長の小島 伸一様に代理出席いただいている。また、野村委員は、所用により欠席との連絡をいただいている。

本日、出席委員が全委員の過半数に達しているため、会議が成立していることを報告する。

次に、仙台市の職員にも人事異動により変更となった職員がいるためご紹介させていただく。建設局長の佐藤 秀樹、公園整備課長の小山 悟である。その他の仙台市側の出席者については、お手元の席次表をご覧ください。なお、本協議会の事務局は、建設局百年の杜推進部百年の杜推進課が務めさせていただく。

### 3. 議事

#### ○司会（百年の杜推進課 熊谷課長）

以降の議事の進行は、要綱第6条に基づき小祝会長にお願いする。

#### ○小祝会長

まず、会議の公開または非公開について確認したい。非公開となる事案がないので、今回の協議会は公開としてよろしいか。

=一同了承=

次に議事署名は五十音順で大庭委員にお願いしたいが、よろしいか。

=大庭委員了承=

それでは次第に沿って進めさせていただく。議事(1)「令和5年度重点事業の評価について」、まず、「重点事業1 広瀬川1万人プロジェクト」の説明を、事務局よりお願いしたい。

#### ○事務局（広瀬川創生係 稲垣係長）

資料1に沿って、「重点事業1 広瀬川1万人プロジェクト」を説明。

#### ○小祝会長

それでは、「重点事業1 広瀬川1万人プロジェクト」について、大場委員に感想を伺いたい。

### ○大場委員

今年は2,635人の方が参加いただき、春は918人で昨年は894人、秋は1,717人で昨年は1,399人の参加であった。昨年までの三年間は、コロナの影響で参加者を目標とする人数の大体半分に絞り、三密を避け、会場受付に消毒液を設置し、参加者にはマスクの着用をお願いして開催していた。今年の秋からはあまり大きな規制は行わず、受付での消毒やマスクの着用についても参加者の自主性にお任せした。秋は参加者が1,717名と昨年よりも300名以上増え、コロナ前の状況に戻りつつあると感じている。

一方で、長年の清掃活動の成果でゴミが減少してきている中、参加者が増加すると会場によってはゴミを探すような状況となるため、参加者数を目標の1万人に近づけ、また、参加者が有意義な清掃活動を行えるよう、会場数を増やすということを実行委員会として考えなければならぬと感じている。活動を十数年継続する中で参加者のご意見を伺うと、多くの方々が大変意欲を持って参加されているという状況もあり、今後も引き続き、皆様と協力して実施していきたいと考えている。

### ○小祝会長

今後も活動を引き続きよろしくお願ひしたい。

他に何か意見はあるか。無いようであれば、続いて、「重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト 広瀬川自然体験学習」の説明を、事務局よりお願ひしたい。

### ○事務局（広瀬川創生係 稲垣係長）

資料1に沿って、「重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト 広瀬川自然体験学習」を説明。

### ○小祝会長

ただいまの事務局からの説明について何か意見はあるか。

### ○豊嶋委員

本事業はコロナの影響により作並かつば祭りの代替のような形で始まったと思われるが、コロナ前の状態に戻すなどの検討はしているのか。

### ○事務局（広瀬川創生係 稲垣係長）

本事業は、コロナ前は作並かつば祭りという名称で、参加者数も一桁多い人数で実施していた。コロナの影響により参加者数を絞った開催を行うことはできないか、ニッカウキスキー仙台工場側とも検討を重ねた結果、少ない人数ではあるが継続することとなり、令和2年度より本事業を実施している。少人数の方がきめ細かな指導をインストラクターができるということもあり、今後もこちらの事業を継続していきたいと考えている。

### ○小祝会長

貴重なご意見をいただき感謝する。

それでは、「重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト 広瀬川自然体験学習」に協力いただいたニッカウキスキー株式会社仙台工場より、笹村委員の代理として小島総務部長から感想を伺いたい。

### ○笹村委員（代理：小島 伸一 氏）

私は昨年と今年の2回イベントを拝見したが、最初は緊張していた子供たちがインストラクターの指導の元、水に慣れていくうちに自ら川に触れていくという姿を見ると大変微笑ましく、また、参加された皆様が今以上に広瀬川に親しんでいただく良い機会であると感じている。

我々もウイスキーの蒸溜所として広瀬川の水は大切な水であり、その大切な広瀬川を皆様と共に大切にしていける大変意義のある活動だと考えており、今後もこのような形で川に親しめる機会が継続できればと思う。

### ○小祝会長

今後も引き続きよろしくお願ひしたい。

他に何か意見はあるか。無いようであれば、続いて、「重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト 広瀬川スマホ写真教室」の説明を、事務局よりお願ひしたい。

### ○事務局（広瀬川創生係 稲垣係長）

資料1に沿って、「重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト 広瀬川スマホ写真教室」を説明。

### ○小祝会長

それでは、「重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト 広瀬川スマホ写真教室」に当日参加された日野口委員に感想を伺いたい。

### ○日野口委員

私からは感想と御礼を申し上げたい。まず、感想として、「ひみつの入口」という題の参加者の作品が撮られた場所があるが、そこは普段は施錠されて行くことができない場所となっており、今回は特別に立ち入らせていただき、普段はできない非常に有意義な体験となった。

次に御礼として、当日は折角の機会ということで、国と県の管理区間の境目である広瀬橋で、私が普及・広報・啓発に努めている水害に関する資料として広瀬川の浸水想定区域図を配布し、水害の怖さや浸水の程度について特徴を踏まえて説明させていただいた。参加者が楽しくイベントに参加しながら、水害についても学べる機会として有効活用させていただき、また、私自身の学びにもなり、感謝申し上げます。

### ○小祝会長

ご感想をいただき感謝する。他に何か意見はあるか。

### ○多田委員

私も習い事で文化センターなどを利用するが、文化センターでは写真に関する講座も見かけたりするので、そういった場所での周知をもっと行えば参加者が更に増えるのではないかと思う。

### ○事務局（広瀬川創生係 稲垣係長）

今回は開催場所の近隣にある市民センターなどにはチラシを置くなどしたが、来年度はそれ以外の場所でも広く広報したいと考えている。

### ○小祝会長

貴重なご意見をいただき感謝する。

他に何か意見はあるか。無いようであれば、続いて、「重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト 広瀬川ミズベリング」の説明を、事務局よりお願いしたい。

### ○事務局（広瀬川創生係 稲垣係長）

資料1に沿って、「重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト 広瀬川ミズベリング」を説明。

### ○小祝会長

それでは、「重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト 広瀬川ミズベリング」に当日参加された小田会長代理に感想を伺いたい。

### ○小田会長代理

私は今回、プレゼン大会と水辺で乾杯の両方に参加させていただいたが、プレゼン大会については、51組の応募作品の中から選ばれた6組のアイデアということもあり、実現は中々難しいかもしれないが内容はどれも面白く、これだけの人が広瀬川に思いを寄せて考えているということ、直接実感できる有意義な時間であった。今後のまちづくりのヒントとなる内容も含まれ、また、片平丁小学校の小学生が自ら行ったプレゼンや個性的な審査員の方々からの発表者を激励するコメントも、とても良い雰囲気を作り出していた。

その後の水辺で乾杯については、今年はプレゼン大会と同日での開催となったことで、そちらの参加者も一緒に参加し、運営スタッフの尽力もありとても盛り上がった。また、広瀬川沿いのウッドデッキも乾杯の場所として相応しく、水辺で集える場所が整備・常設されたことの意義を実感することができた。

### ○小祝会長

ご感想をいただき感謝する。

他に何か意見はあるか。無いようであれば、以上が議事（１）「令和５年度重点事業の評価について」となるが、広瀬川ミズベリングの実施結果の報告と実施内容の妥当性も含め、承認いただいたということにする。

引き続き、議事（２）「令和５年度主な取組事業の報告について」、事務局より説明をお願いしたい。

### ○事務局（広瀬川創生係 稲垣係長）

資料２に沿って、「令和５年度主な取組事業の報告について」を説明。

### ○小祝会長

ただ今説明のあった事業に関係する当協議会の委員に、それぞれ感想を伺いたい。

まず、「第15回いい川・いい川づくりワークショップ in 東北」について、谷田貝委員から感想を伺いたい。

### ○谷田貝委員

『いい川・いい川づくりワークショップ』は、その前に10回開催された『川の日ワークショップ』の名称が変更されてから、今年で15回目の開催に当たり、仙台では8年前に一度開催され、今回２度目の開催となった。全国の川や水辺で活動されている個人、グループ、企業、行政の方々が自らの活動を発表し、コメンテーターや選考委員と共に各活動のいい所を見つけながら議論を行うワークショップとなっている。

今年は仙台で開催したため、北上川や貞山運河・広瀬川の活動の他、広瀬川ミズベリングのプレゼン大会に参加された宮崎氏の活動も発表され、コメンテーターや他の参加者からも好評だった。なお、前日に予定されていた広瀬川沿いを巡るエクスカージョンは急遽中止となったが、３種類あったエクスカージョンの中では最も参加希望者が多かったことから、“仙台と言えば広瀬川”という考えを、全国から集まった参加者の多くが持っていたということが感じられた。

### ○小祝会長

ご感想をいただき感謝する。続いて、「広瀬川界限ぶらり散歩」について、佐々木委員から感想を伺いたい。

### ○佐々木委員

今年度の広瀬川界限ぶらり散歩は、全国都市緑化仙台フェアの開催に併せて、例年春の花壇大手町コースは2回開催しているところを3回に増やして実施した。回数を増やしたものの、応募は殺到し定員の2倍近い応募があった回もあり、この事業の人気の高さを知ることができた。秋の米ヶ袋コースでは、広瀬川沿いの逆断層やセコイヤ化石など、広瀬川のまた違った景観を参加者には堪能いただいた。

参加者からは、「いつも車で通り過ぎるばかりなので、歩いて広瀬川の魅力を知ることができ楽しかった」、「広瀬川の自然が美しい」、「丁寧なお話で、仙台の歴史などをもっと知りたくなった」とのご感想をいただき、多くの参加者にとっても満足いただいた。以前は、シニアの参加者が多かったが、今年度は若い年代の方にも多くご参加いただいた。また、広瀬川の景観が本当に素晴らしいということもあり、リピーターも増えている。今後も本事業を通して広瀬川の魅力を発信したいと考えている。

### ○小祝会長

今後も引き続きよろしくお願ひしたい。

続いて、広瀬川インスタクラブを主催し、広瀬川インスタグラムへ記事を提供している佐藤委員から感想を伺いたい。

### ○佐藤委員

当初は、コロナの中で市民交流の補完ができないかという視点からSNSでの情報発信を始めたが、実際にどのような方々と関わることができるか、また、どこまでフォロワー数を増やせるかということも考えつつ、これまで記事を提供してきた。広瀬川インスタグラムは、観光目的のように多くの方に見ていただくSNSというよりも、イベントに参加された方や自分の姿が写真に写り込んだ方など、ささやかな応援者を少しずつ増やしていくタイプのSNSだと感じている。今年度から仙台七夕花火祭が制限のない形で開催されたため、関係者の活躍の記事に載せたいと考え連絡を取ったところ、来年の5月や6月の開催前であればとの回答だった。広瀬川に関わっている方は多いので、それらの方との情報共有をいかに図り、記事をご提供いただける方をどう増やしていけるかということも考えている。

また、今年度に投稿した市役所本庁舎の建て替え工事に関わる記事の中で、議会棟の窓の外側にある外装レリーフを広瀬川のせせらぎに関連付けて紹介することがあったが、実際に広瀬川に足を運ばなくとも、まち歩きなどで見つけた広瀬川に関係するヒントを拾い上げて記事にすることも面白いし、また、まちの良さや広瀬川の良さに改めて気づくこともできるのではと感じている。

#### ○小祝会長

貴重なご意見・ご感想をいただき感謝する。

ここで、私から「東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業」についてご紹介する。今年も授業の中で広瀬川歩きを実施することとなり、今年は3年目ということで恒例行事となっているが、前委員の西大立目氏、現委員の豊嶋委員、市職員にもご協力をいただき、大変有難いと感じている。過去に参加した学生1名が現在私の研究室に所属しており、地域資源を活用した中山間地域の再生をテーマに卒論の研究を続けている。活動が次に繋がるように頑張っていきたい。

他に何か意見はあるか。無いようであれば、以上で議事(2)「令和5年度主な取組事業の報告について」は、これで承認いただいたということにする。

引き続き、議事(3)「広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について」、事務局より説明をお願いしたい。

#### ○事務局(広瀬川創生係 稲垣係長)

資料3に沿って、「広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について」を説明。

#### ○小祝会長

ただいまの事務局からの説明について何か意見はあるか。

無いようであれば、以上で議事(3)「広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について」は、これで承認いただいたということにする。

以上、議事についてはここまでとする。

### 4. その他

#### ○小祝会長

本日の議事は以上となるが、その他に、委員から意見や質問などはあるか。

#### ○豊嶋委員

広瀬川創生プラン2015-2024の推進により、幅広く企業を巻き込んだ取り組みや若年層との関わりを増やす活動など成果を上げている。来年度に改定が予定されている次期プランに向けて、次の10年での課題や重点的に着手すべき内容を挙げることは、本協議会の大きな役割である。恐らく、事務局側の作成した叩き台を元に検討が行われると思うが、視座が狭くならないよう、また、検討を進めやすくするためにも、委員からしっかりと意見を出していく必要があると考える。

#### ○小祝会長

事務局には委員からの意見も踏まえたうえで検討してもらいたいですが、何か意見はあるか。

#### ○事務局（広瀬川創生係 稲垣係長）

平成17年にプランの策定が行われた際と、平成27年にプランの改定が行われた際には、広瀬川に対する市民への意識調査がそれぞれ行われており、来年度の改定に際しても前回調査と同様の項目でアンケート調査を行う予定である。その調査結果を元に、広瀬川に対する意識が昔と今でどのように変わったのかという点を踏まえ、新しいプランの中身を詰めていきたいと考えている。その際には委員の皆様から意見を伺いたいと考えている。また、来年度は改定の年ということもあり、協議会の開催回数も増やす予定である。

#### ○小祝会長

他に何か意見はあるか。無いようであれば、「4.その他」については、これで終了する。

### 5. 閉会

#### ○小祝会長

これまでの委員からの意見・質問等について、事務局でまとめていただき議事録にて確認することとする。

本日の議事はこれで終了とし、マイクを事務局にお返しする。

#### ○司会（百年の杜推進課 熊谷課長）

議事の進行に感謝申し上げます。

今期の協議会委員の任期は、来年の3月31日をもって満了となる。任期中の協議会開催は、今回が最後になると考えている。委員の皆様には、2年間貴重なご意見、ご指導をいただき誠に感謝申し上げます。最後に、協議会委員を代表して、小祝会長よりご挨拶を頂戴したい。

#### ○小祝会長

委員の皆様には、2年間ご協力をいただき誠に感謝する。開催回数は少なかったものの、開催時には中身の濃いご意見をいただいた。広瀬川は仙台に無くてはならない資源であり、雨が降り、その水が広瀬川を流れ循環する様は、まさに持続可能な社会にも似た雄大さと長い歴史を感じられる。本協議会も持続可能な流れを作る存在であり、次期委員の皆様にもより良い広瀬川を作っていくって欲しいと思うし、先ほどの豊嶋委員からのご意見のとおり、次期プランをブラッシュアップしてより良いものにしていく役割も担っている。引き続き、関係者にはご協力をお願いしたい。

#### ○司会（百年の杜推進課 熊谷課長）

小祝会長、ありがとうございました。

以上をもちまして、「第45回広瀬川創生プラン策定推進協議会」の一切を終了する。

以 上

この議事録について、会議の内容に相違ないことを認めます。

令和 年 月 日

議事録署名人

広瀬川創生プラン策定推進協議会 会長 \_\_\_\_\_ (印)

委員 \_\_\_\_\_ (印)